

ロンドンの桜と April Fools



廣田篤彦

今年の春にロンドンに滞在する機会があった。この時期に行くのは久しぶりだったが、春の美しさが印象に残った。街路樹の葉の大きさや、緑の色調の変化を見上げて楽しむだけでなく、意外なほど多くの桜を見ることができた。日本の桜の名所のような圧倒的な存在感は望むべくもないが、ソメイヨシノ、山桜、八重桜が同時に咲き、満開の桜と花壇のチューリップやヒヤシンスと一緒に眺められる贅沢さに、英国が北国であることを思った。

花々の美しさとは対照的に、Brexitを巡る政治の混乱は目を覆うばかりだったが、各紙がこの問題を報じる際の辛辣な表現にいかにも英語らしいものがあり、大変興味深かった。4月2日の*The i*紙の一面に躍ったのは、April Foolsの見出しである。これはもちろん、嘘をついても良いというApril Foolの慣習をもじり、可決の見通しもなく、事実上同じ内容の提案を繰り返し、与党も内閣もまとめられない首相、混乱を解消する意欲もなく造反を繰り返す与党議員、やはり分裂し、有効な代案を出せない野党、の全てをfools（愚か者、道化）になぞらえて批判するフレーズで、同時に、現実離れた議論を繰り返している、これが現実とは信じたくない、という不満や失望をうまく表しているように思えた。同日の*The Daily Telegraph*の一面では、May threatens elections as MPs hit stalemate. として、首相が解散総選挙をちらつかせて議員達（Members of Parliament）を恫喝していると報じていた。Stalemateはチェスの用語で「行き詰まり」（A position in which the player whose turn it is to move has no allowable move open to him, but has not his king in check. [OED]）だが、一般的に「行き詰まり、膠着状態」の意味で使われる。現実には、May 前首

相は解散総選挙に打って出られず、5月24日に退任を表明せざるを得なくなったのは、周知のとおりである。

3月31日付の*The Sunday Times*には、How Japan must pity the Land of the Setting Sun という記事が寄稿されていた。「桜の季節に東京にいと3つのことが思い起こされる」という書き出しに魅かれて読み始めたが、Brexit looks like a chronic identity crisis when viewed from Tokyo という副題のとおり、ロンドンも東京も春は美しいのに、日本と比べてイギリスは政治が不安定であることを述べていた。両国の政治状況の違いを、移民受け入れの規模の違いに帰すという論じ方に関しては、問題はもっと複雑であろうし、日本を比較の対象として持ち上げるのも安易に過ぎると考えるが、このような見方もあるのかと思わせられるものではあった。

7月24日に就任したBoris Johnson 首相の下、前政権の閣僚の多くが更迭され、内閣は新首相の方針の支持者で固められた。各紙は、purge（粛清）を始め、carnage, massacre, bloodbath（殺戮、大虐殺、血の海）や ripped apart（引き裂かれた）といった、民主主義国家の政権交代にはそぐわない強烈な言葉で組閣を報じ、今回の政変の衝撃の大きさが窺われた。英政府は離脱に向けて強硬な姿勢を強め、no-deal Brexitが実現してしまうことへの危機感が国内外で高まっているようだ。離脱がいつになるにしろ、それまでには、桜や街路樹の葉は色付き、散っていくのだろうが、Brexitを巡る情勢に関しては、世界経済に対する影響や、旅行者にとっての関心事であるポンド相場だけでなく、各種報道の英語表現にも引き続き注目していきたい。

（ひろた あつひこ・京都大学教授）

『アクシスジーニアス英和辞典』（AG）： G5から生まれた中級学習辞典

中邑光男



AGは『ジーニアス英和辞典』（第5版）（G5）から生まれた中級学習者用の学習辞典である。本稿では、G5の内容をベースにして、どのようにAGを中級学習者向けの辞書に仕上げたのか、実例を挙げながら解説していきたい。

◆語義、訳語について

AGでは語義や訳語の数を、学習者の立場から調整している。

語義を減らした例としては saturate を挙げることができる。下の(1)のようにG5では「[[[軍]]」のような専門語を含め6つの語義を示した。一方、AGでは、3つの語義に絞り込んだ。

- (1) ***sat-u-rate** /sætʃəreɪt/ (動) ①【正式】…を水浸しにする；…をずぶぬれにする；…を〔水などに〕浸す；…を〔水などで〕十分に湿らせる(soak)〔with〕(↔ dry) Ⅱ The ground became **saturated** with torrential rain. 地面は大雨により水浸しになった / air **saturated** with moisture 湿った空気。②〈物・場所〉を〔…で〕一杯にする、満たす〔with〕 Ⅱ The air was **saturated** with the perfume of flowers. あたりには花の香りが満ちあふれていた。③【経】〈市場〉に商品を過剰供給する Ⅱ The market for this product is **saturated**. この製品の市場は飽和状態だ。④【化】〈物質〉を飽和させる Ⅱ **saturate** water with salt 水を食塩で飽和させる。⑤【正式】〈人〉を〔…に〕没頭〔熱中〕させる〔with, in〕 Ⅱ ◆通例受身または **saturate oneself** Ⅱ She is **saturated** with American drama. 彼女はアメリカ演劇に没頭している。⑥【軍】…に集中攻撃を加える。 — ⑧ ⑨ ⑩ [通例 ~s] = saturated fat.

- (2) ***sat-u-rate** /sætʃəreɪt/ (動) ①【かたい】…を水浸しにする；…をずぶぬれにする；…を〔水などに〕浸す；…を〔水などで〕十分に湿らせる(soak)〔with〕(↔ dry) Ⅱ The ground became **saturated** with the heavy rain. 地面は大雨で水浸しになった。②〈物・場所〉を〔…で〕一杯にする、満たす〔with〕 Ⅱ The air was **saturated** with the perfume of flowers. あたりには花の香りが満ちあふれていた。③【化】〈物質〉を飽和させる Ⅱ **saturate** water with salt 水を食塩で飽和させる。

語義の数を増やした例としては、catch がある。G5では、語義4として「〈言葉・文字など〉をその場で聞いて〔見て〕わかる」と「〈人・小説・写真などが〉…を正確に描写〔再現〕する、うまくとらえる」という訳語をまとめて示している。しかし、AGではこれらの訳語は学習上重要なものであると判断し、それぞれを独立させた。

G5には180の「類語比較」のコラムがあるが(図(3))、さらに中級学習者に必要だと思われる項目を書き加え、221の「使い分け」コラム(図(4))として誕生させた。

- (3) **類語比較** [trip, journey, travel, tour, voyage] **trip** はいろいろな旅行を意味する最も一般的な語で、出発点に帰る旅という含意がある。round, quick, short などの形容詞がよく前につく。**journey** は特別な意味や目的のある旅行で、特に時間も距離も長いものをいう。personal, long, spiritual とよく連語する。**travel** は比較的長期の旅行で、international, foreign などと連語することが多い。名詞よりも動詞としてよく用いられる。**tour** は周遊〔観光〕旅行。**voyage** は船・飛行機・宇宙船による長い旅行：He made a business trip [×journey, ×travel, ×tour, ×voyage] to Italy. 彼は仕事でイタリアに出張した / Your tour [trip, ×travel, ×journey, ×voyage] includes a one-day excursion to Disneyland. あなたのツアーにはディズニーランドへの1日の小旅行が含まれています / He took a voyage [journey, trip, tour, ×travel] by boat from Kobe to Hawaii. 彼は神戸からハワイまで船旅をした。

- (4) **使い分け** 「旅行」
trip 「旅行」を表す最も一般的な語。
journey 長期間・長距離の「旅行」のこと。
travel 長期間の、主に海外での「旅行」のこと。
tour 観光のため周遊する「旅行」を表す。
excursion 観光のための団体での短期の「旅行」。

また成り立ちを知ることによって理解しやすくなる成句には由来を適宜書き添えた。例えば

「go [walk] down the aisle 《略式》結婚する」という成句には、「《◆結婚式で教会の通路を歩くことから》」という注記を書き添えた。

ジェスチャーを示す表現には、イラストを添えた。例えば、下の(5)の give O a leg up は、訳語だけを見ると help とあまり違わないように思われるが、イラストによって、この表現の本質的な意味がわかるだろう（ジェスチャーとイラストについて詳しくは10～11ページを参照）。

(5)

give O a lég ùp 《くだけた》(1) O<人>が上がる[登る, 乗る]のを助ける。
(2) O<人>を助けて困難を乗り切らせる。
hàve légs 《くだけた》<ニュースなどが>長く人々の関心を引く。
nót hàve a lég to stánd òn 《くだけた》(議論・主張などの)根拠を持っていない, 寄って立つところがない。



give O a leg up

◆用例について

用例は、AG と G5の違いのうち最も大きなものである。ここではそのうち6つを紹介したい。

第1に、AG では、用例を必要十分な数に絞り込んだ。例えば、下の(6)のように、G5の marriage の語義①では用例を10示しているのに対し、AG では、(7)の5つの用例で十分だと考えた。

(6)

— ④ (●) --riag'es/-iz/) ① ② […との/…間の]結婚, 結婚生活[to, with/between]; ③ 結婚していること[状態] || 「a happy [an unhappy] marriage 幸福な[不幸な]結婚 / a marriage ceremony 結婚式 / his marriage to [with] her 彼女との彼の結婚(生活) / a marriage made in heaven 完璧で幸せな結婚(生活) / give one's daughter (away) in marriage to him (正式) 娘を彼に嫁(さ)がせる / the breakdown [break-up] of (a) marriage 結婚生活の破局 / propose marriage to her 彼女に結婚を申し込む / a child born outside of marriage (主に米) 婚外子 / My parents disapprove of our marriage. 両親は私たちの結婚に反対だ / The romance has gone out of our marriage. 私たちの結婚生活にはもう愛はありません 《◆ We've drifted apart. / The honeymoon is over. などと言ってもだいたい同じ》. ④ an arranged marriage (親などによる) 取り決め結婚 / a civil [church] marriage 届出[教会]結婚 / a common-law marriage 慣習法上の結婚[内縁関係・同棲(さ)状態のこと]。

(7)

① ② […との/…間の]結婚, 結婚生活(to, with / between); ③ 結婚していること[状態] || 「a happy [an unhappy] marriage 幸福な[不幸な]結婚 / 「a love [an arranged] marriage 恋愛[見合い]結婚 / his marriage to [with] her 彼女との彼の結婚(生活) / give one's daughter (away) in marriage to him 《かたい》 娘を彼に嫁(さ)がせる / propose marriage to her 彼女に結婚を申し込む。

第2に、用例を中級学習者にわかりやすいものにした。例えば、lie は SVC の文型で使われる時「…の状態で横たわる」という意味を表す。G5の用例は「lie spreadeagled 大の字に横たわる」であるが、中級学習者は spreadeagled でつまずくにちがいない。そこで AG では「lie sick in bed 病気で床についている」に代えた。

第3に、必要に応じて、用例に注記を加えた。例えば、G5の helpful の項の用例の「It is really helpful for you to have a cell phone. 携帯電話を持っていると本当に役に立つよ」を考えてみよう。これは「携帯電話の便利さを述べている」文だが、学習者によっては「聞き手に携帯電話を持つことを勧めている」文だともうかもしれない。しかし、後者の意味でこの文を使って話そうとする場合、そのままでは be 動詞の断定調が強すぎるという問題がある。そこで AG では「聞き手に携帯電話を持つことを勧める場合は It would be really helpful for you to...」という注記をつけた。

第4に、用例の訳語を「直訳→意識」の順序で示した。例えば、「<人>を失望させる、<人>の期待を裏切る」という意味を表す let down という成句を取りあげよう。例文は G5 も AG も I won't let you down. である。この英文の訳は、G5では「がんばります (失望はさせません)」であり、「意識→直訳」の順序で並べている。しかし AG では「あなたに失望させません (=がんばります)」のように「直訳→意識」の順序にした。中級学習者にとっては、まず基本的な訳語に触れ、そのあとで文脈に沿った意味を確認する方がわかりやすいと考えたからだ。

第5に、イコール記号で結んだ2つ以上の文のニュアンスの違いについて簡潔に示した。例えば、G5の見出し語の strike の語義②では「She struck me on the chin. = She struck my chin. 彼女は私のあごをなぐった」と示しているが、AGではこれに「《◆前者は me に、後者は my chin に重点がある》」と書き加えた。

第6に、よく使う単語の組み合わせをまとめた「コロケーション+」の数を、G5の35からAGでは64に増やした。下の(8)はAGの見出し語 product の「コロケーション+」である。

(8)

コロケーション+

●【名詞 / 形容詞+product】 an agricultural **product** 農産物 / a food **product** 食品 / a beauty [cosmetic] **product** 化粧品 / a commercial **product** 商品 / the finished **product** 完成品。

●【動詞+product】 design a **product** 製品をデザインする / create a **product** 製品を作り出す / make [manufacture] a **product** 製品を作る / order a **product** 製品を注文する / sell [buy, purchase] a **product** 製品を売る[買う, 購入する]。

◆語法情報について

G5は語法に関する情報が充実しているという定評がある。AGでもその伝統を踏襲しつつ、G5の語法情報を重要な点に絞り込むと同時に、必要ならばアップデートした。例えば「…のように、…と同じように」という意味を表す接続詞 like については、G5では「この用法を誤用とみなす人も」と説明したが、AGでは現在の信頼できる語法書・文法書を参考にして「以前はこの用法を誤用とみなす人もいたが、今は《くだけた》ではふつうに用いられる」とアップデートした(語法情報について詳しくは5～7ページを参照)。

また、語法情報を学習者にとってさらにわかりやすいものにするために、AGでは、Question Box と、Typical Mistakes 100 という新しい「軸」を導入した。Question Box は、主にG5に

ある「語法」から、高校生に特に注意してほしい項目について、質問に答えるという形にして、解説したものである。Question Box は『ジーニアス総合英語』にもあるコラムだが、AGにもこれを設けることによって、英語は「暗記科目」であるという考えを持っている学習者に、英語は「理解科目」でもあることを伝えたいと考えた(Question Box について詳しくは5～7ページを参照)。

さらに、語法情報のうち、中級学習者が特に間違えやすい間違いを集め Typical Mistakes 100 という巻末資料にした。高校生にとっては無限にあるように思えるかもしれないが、これによって、学習者は試験によく出るところを重点的に学習することが可能になるだろう。そしてこの Typical Mistakes 100 や、上述の Question Box を通じて語法の面白さに目覚めた学習者には、AGの900を越す「語法」情報が知的好奇心を満たすにちがいない(Typical Mistakes 100 について詳しくは8～9ページを参照)。

◆おわりに

AGの編纂にあたっては、学習者のニーズを考え、学習上の確かな「軸」となるために、G5に対して細かなチューニングを数多く施した。本稿で紹介した「軸」以外にも、多義語に語義を視覚的に示した「語義ツリー」、前置詞に示した「イメージ図」、また発信に役立つ表現を集めた Let's Talk in English! という巻頭カラーページ、チャンクで覚えておくくと便利な表現を挙げた「チャンク英会話」などの特徴ある学習の軸を設けた。

英語学習者に求められる力は時代とともに変化していくにちがいない。私たちは今後も学習者のニーズに向き合い、AGをチューニングアップし続けるつもりである。

(なかむら みつお・関西大学教授)

充実した語法情報： 語法欄と Question Box

柏野健次



「語法に強いジーニアス」は高校生向けの英語学習辞典である『アクシスジーニアス英和辞典』（以降、AG）にも語法情報、Question Box という形で受け継がれている。

◆ Q&A コラム「Question Box」

『ジーニアス総合英語』で好評だった語法に関する Q&A のコラム「Question Box」（以降 QB）が AG でも設けられている。

『ジーニアス総合英語』では文法書という性質上、QB は構文などの一般的な情報が多く載せられているが、AG では、辞書という特性を生かして、特定の見出し語に関連した役に立つ語法情報を積極的に取り入れた。

QB 欄のテーマに関しては、とりわけ高校生がライティングやスピーキングのような発信の場面でも使えるような表現を項目として立てるように心がけた。

例えば、AG の best 項には、成句 do [try] one's best の解説に続いて、次のような QB 欄がある。

? Question Box

Q I'll do my best. は「最善[全力]を尽くします」「ベストを尽くします」という意味だと思っていましたが、そうではないのですか。

A 上にある通り、ふつうは「やるだけやってみます」という意味を表します。

I'll do my best. は「自信はないが、やるだけやってみる」というような話し手の気乗りのなさを表すのがふつうです。

・I'll do my best, but I can't promise anything. (やってみますが、(うまくいくかどうか)保証はできません)

・I'll do my best to be there on time, but I may be late. (そこには時間通りに行くようにはしますが遅れるかもしれません)

ただ、スポーツ・コンテスト・入学試験などのように競争相手がいる場合は、話し手は自ら進んでその行為を行なうことになるので、多くの場合、「最善[全力]を尽くします」「ベストを尽くします」という意味になります。

・“Hit a single, and we will win the game.”
“I'll do my best!” (「ヒットを打て。そしたら私たちの勝ちだ」「ベストを尽くします」)

[補足説明]

I'll do my best. は高校生が「最善[全力]を尽くします」「ベストを尽くします」の意味で使う可能性が十分あるが、英語の I'll do my best. と日本語の「最善[全力]を尽くします」「ベストを尽くします」では聞き手が受ける印象が異なるという点に注意すべきである。

ここから、コミュニケーションをする上でも十分注意しなければならない表現だと判断し、QB として取り上げた。[I'll do my best. については、『英語教育』2019年7月号 Question Box 欄の拙稿を参照]

また、willing 項には次のような QB 欄を設定した。

? Question Box

Q be willing to は「喜んで…する」という意味ではないのですか。

A 違います。「…してもかまわない」という意味を表します。

be willing to は、自分から積極的に何かをしたいという意味を表しません。特に反対する理由もないので同調する場合に「…してもかまわない」という意味で用いる表現です。強調する副詞の perfectly や quite をつけても、そのことは変わりません。

I'm (perfectly [quite]) willing to do that, but it may take several days. (それをしても別にかまわないけど数日かかりますよ)

「喜んで…する」の意味は be ready [glad] to で表します。glad の方が「喜んで」の気持ちが強くなります。

I'm ready [glad] to drive you into town any time you want to go. (あなたが行きたい時にいつでも車で町まで送ります)

ただし、willing が名詞を修飾する場合、また副詞形の willingly や名詞形の willingness は、「喜んで」という意味を表します。(→ willing ㉔ ㉕, willingly, willingness)

[補足説明]

be willing to は受験英語の必須の成句であるため、英作文などで「喜んで…する」の意味で be willing to を使ってしまうことも考えられるので、QB の項目の 1 つとして選んだ。

さらに、please 項には次のような QB 欄を取り込んだ。

? Question Box

Q Come in. に please をつけて Please come in. とするとていねいな意味になると考えていいですか。

A 命令文に please をつけてもたいしてていねいな言い方にはなりません。

語法 (1) にあるように、命令文に please をつけてもソフトになるだけで、命令であることに変わりはありません。

なお、please よりも命令文をていねいにする語に動詞を強調する助動詞の do (→ do ㉔ ㉕) があります。この do は相手の行動を促すもので、Do come in. (↗) は「さあ、お入りなさい」というような意味になります。他に命令文につく語として just がありますが、これは状況によっては「いらいだち」を表すこともあるので、つけると逆にていねいさを欠きます。

命令文をていねいさの観点から順序づけすると、おおよそ次のようになります。

[ていねい] Do come in. → Please come in.
→ Come in. → Just come in. [ていねいでない]

[補足説明]

please の使い方は日本人には非常にわかりにくく、please をつけると、ていねいになると思っている人が多い。please は「最小限度のていねいさを表すマーカー」(a minimal marker of politeness) と言われていることからわかるように、please をつけても口調が少し柔らかくなるだけで、命令であることに変わりはない。

最後に ride 項と suffer 項に掲載した QB を紹介しておきたい。

これらでは上に紹介した 3 つの QB とは異なり、意味の観点からの類語比較が行われている。

? Question Box

Q 授業で「私は 10 時に列車に乗った」という日本語を ×I rode the train at ten o'clock. と英訳したら、ALT に間違いだと言われました。なぜですか。

A ride は「ずっと乗っている」という意味を表す状態動詞だからです。

ride は状態動詞ですから I rode the train for one hour. (私は 1 時間列車に乗っていた) とは言えますが、「私は 10 時に列車に乗った」に ride は使えません。「乗り込む」という動作を表す get on を使って、I got on the train at ten o'clock. としなければなりません。

これと同じような状態動詞と動作動詞のペアとしては、wear(着ている)と put on(着る)があります。

・Put on your sweater because it is cold today. (今日は寒いからセーターを着なさい)

・She wore a green dress when she went out to the party. (彼女はパーティーに出かけた時、緑のドレスを着ていた) (→ put, wear)

[補足説明]

一般に、ride が状態動詞であることはあま

り知られていないように思う。上記後半部にあるように、他の状態動詞と動作動詞のペア（このほか、例えば belong（所属している）対 join（加入する）など）とセットにして教えれば効果が上がるのではないだろうか。

Question Box

Q 「病気などを患って苦しむ」という場合、suffer と suffer from は同じように使えますか。違うとすればどう違うのですか。

A 同じようには使えません。以下のような差異に注意しましょう。

suffer from は状態が継続する場合に使うのがふつうです。状態の継続には反復の場合も含まれます。

・He was *suffering* from pneumonia and had to stay in bed for several weeks. (彼は肺炎を患っていたので数週間寝ていないといけなかった)

・My grandmother *suffers* from headaches. (私の祖母は(繰り返し)頭痛に悩まされている)

suffer は突然の出来事を表す場合に使うのがふつうです。

・He *suffered* a heart attack and was taken to the hospital. (彼は心臓発作に見舞われ病院に運び込まれた)

・Tom *suffered* a broken leg in the accident. (トムは事故で足の骨を折った)

[補足説明]

suffer と suffer from の違いは大変わかりにくく、どちらを使ってもいいと思われがちだが、ride 項の QB 欄と同じように、状態、動作というアスペクト（相）の観点からの説明が効果的である。

◆語法欄の見直し

語法欄については、『ジーニアス英和辞典 第5版』（以降、G5）に盛り込まれていた語法情報のうち、高度と思われるものを AG のレベルに合うように取捨選択した。

その結果、非常にくだけた場面で使われるような表現や非標準的な表現など、高校生には教える

必要がないと思われるものは削除した。

例えば、G5の because 項には、接続詞用法の語義①c)の語法欄に次のような記述がある。

[Because 単独の文] くだけた言い方では、理由をはっきりと言いたくない時に because が単独で用いられることがある：“Why do you want to marry me?” “Because.” 「どうして私と結婚したいの?’ 「どうしても」。

これは、大変くだけた言い方なので、高校生には不必要な情報と見なし、割愛した。ちなみに、実際の対話では、このあと “Because of what?” “Just because. Period.” (「どうしても何なの?’ 「それだけ。以上」) などと続く。

また、G5には or 項の接続詞用法語義②の語法欄に次のような説明がある。

(1) 第3例 [= I’m not free on Monday, Tuesday, or Wednesday.] と同じ意味で or の代わりに and を使う人もいるが避けた方が無難。ただし、and に強勢を置き「月曜、火曜、水曜とも時間が取れるというわけではない」の意で用いるのは一般的。

(2) くだけた話し言葉では neither ... nor ... の形で neither ... or ... を使うことが多くなっているが、まだ標準語法として確立していない。

AG では、(1)で and を使うのは間違いであると割り切り、高校生には不必要な情報だと考えて削除した。

(2)も標準語法として確立していないものをわざわざ高校生に教える必要はないとの判断で載せないことにした。

以上のように、AG では高校生が使用する辞書という立場から、高校生に役に立つ語法情報を語法欄や QB 欄に積極的に取り込んだ。

語法に強い『ジーニアス英和辞典 初版』は昭和生まれであるが、AG はこの伝統を保持しつつ、令和の時代に即した新しいタイプの辞書を目指して編まれたものである。

(かしの けんじ・大阪樟蔭女子大学名誉教授)

特集：英語学習の「軸」となる『アクシスジーニアス英和辞典』誕生！

よくある間違いから学ぶ ——正確さを知る手立て

黒澤隆司



イラストは教え子による

私の勝手な思い込みかもしれないが、どうも最近の日本の英語教育では正確さが求められなくなったように感じる。英語を読む場合も、書く場合も、話す場合も、聞く場合だって、何となく大雑把にできればいい、そんな感じがしてならない。「英文法」なんてものは、もしかしたら昭和の遺物とされる時代がすぐそこにやって来ているようにさえ思える。何しろ細かいことを言うよりどんどん使って英語を身につける時代のようなだから。

しかし、どんな言語だって、外国語として学習するのに文法を知らないでできるようになるはずがない。外国語をきちんと勉強した人なら間違いなく文法の大切さをひしひしと感じるだろう。

そんな時代だからこそ、「正確さ」を大事にしたい。この度、刊行された『アクシスジーニアス英和辞典』（以下、AG）では、英語の文法・語法に興味を持ってもらい、正確な英語を学んでもらいたいという趣旨から、類書にはない「Typical Mistakes 100」というコーナーを巻末に設けた。ある日本語を英語で表す際に、日本人の中級学習者が（いや場合によっては上級者であっても）間違いやすい例を100挙げ、正しい英語を記した。また、それらを詳しく知るには、AGのどの語を調べればいいのかを示した。当該箇所を是非読んでみて欲しい。考え方の説明が書いてある。

◆日本語にひきずられての間違い

例えば、「恥ずかしい」という日本語で、中学生や高校生が最初に思い浮かぶ英語は何だろうか。おそらく ashamed ではないだろうか。

⑤ 転んだので恥ずかしかった。

✕ I was ashamed because I fell down.

○ I was **embarrassed** because I fell down.

(→ashamed 図 ① 語法)

ashamed を見てみると、ashamed は罪の意識・良心の呵責から「恥ずかしい」の意で、embarrassed はしくじってきまりが悪かったり人前でどぎまぎしたりして「恥ずかしい」の意とある。

このように、日本語に引きずられてしまう間違いを本コーナーでは重点的に扱っている。

⑬ オーストラリアからの観光客は刺身に挑戦した。

✕ The Australian tourist challenged sashimi.

○ The Australian tourist **tried** sashimi. (→challenge 動 他 ② 語法)

⑮ 昨晚、変な夢を見た。

✕ I saw a strange dream last night.

○ I **had [dreamed]** a strange dream last night. (→dream 図 ①)

「趣味」という日本語もやっかいである。中学生あたり（今は小学生か？）が自己紹介の際に用いたがる hobby だが、これも制約がある。

④④ 私の趣味はテレビを見ることです。

✕ My hobby is watching TV.

○ My **pastime** is watching TV. (→hobby 図 語法)

hobby は特別な知識や技能が必要で、切手など何かを収集すること、写真撮影、楽器演奏な

ど、ふつう1人でするものをいう。日本語の「趣味」は音楽鑑賞、旅行、読書なども含むが、これらは pastime (余暇の過ごし方) という。「テレビを見ること」も hobby と言わないので、「私の趣味はテレビを見ることです」は My pastime is watching TV. となる。「趣味」と hobby は違うと前々から叫んでいるのだが、一向に変わらない。AG 出版とともに正しい使い方が広まってくれることを願っている。

◆文法・語法面での間違い

文法・語法面でも大切なことが出ている。could と was / were able to の違いも日本人学習者にはわかりづらい。

㊦ この春に運転免許を取ることができた。
✕ I could get my driver's license this spring.
○ I was able to get my driver's license this spring. (→could ㊦ 語法)

could の項の語法欄を見ると、a) 一般に、I could do it. と言えば「しよと思えば(これから)それをすることができる」という仮定法の意味になるのがふつう。これを「(特定の時に)それをすることができた」のように過去の1回限りの行為に使うのは通例不可。代わりに was / were able to を使う：I was able to [✕] could] get my driver's license this spring. was / were able to 以外に managed to do, succeeded in doing も用いることができるが動詞の過去時制ですませることも多い。b) 次の場合は例外的に could の使用が認められる：i) 否定文あるいは almost, nearly, hardly, only, just (かろうじて) などの副詞と共に使われた時《この場合は couldn't も was / were not able to もほぼ同じ》：Frank was sick. / He couldn't play in the match. / The train was so crowded that the passengers could hardly move. ii) how 疑問文の時：How could you do such a

thing? iii) 次のような決まった言い方で：I'm (so) glad you could come. iv) 知覚動詞や認識動詞と用いる時。後半は、一般の高校生用の文法書ではあまり見かけない記述かもしれないが、指導する側は知っておいてもいい情報だろう。

何しろ100あるのだから、ひとつひとつ挙げていたらきりが無い。詳細は先生方が実際に AG を手に取って是非読みいただきたい。

◆どのように活用するか

では、この Typical Mistakes をどのように使っていったらいいか。

中級学習者には是非 AG を読んでいただきたい。英和辞典には、いろいろな情報が載っているということを学習者に知ってもらいたい。

毎回授業の最初に、Typical Mistakes 100 にある日本語を英語にさせてみてはどうだろう。そして、フィードバックとして当該の説明を読む。時間的に厳しいというのであれば、いくつかを選んでいただいてもかまわない。また夏休みなどの長期休みの課題として活用できないだろうか。

生徒がある程度自分で学習できるのであれば、自主的な課題として事前に勉強させ、試験範囲に入れてしまうのも手かもしれない。その際、日本語に対して正しい英語を書かせる。

単調な英文法の演習では退屈してしまうのであれば、アクティブラーニングとして、調べさせて発表させるのもいいだろう。他の辞書に書いてあることと比較させることもできる(大学の英語の時間にどの程度できるか挑戦させるのもいいように思う—100点満点とれる学生がどのくらいいるかちょっと不安もあるが)。

先生方には、是非、これらの mistakes と正解の説明を頭の片隅において、このような英語が教材に出てきた際には、ちょっと一言話していただいて、生徒が正しい英語を学ぶのに役立てていただけると幸いである。

(くろさわ たかし・日本大学第二中学・高等学校教諭)

発信と受信の「軸」： チャンクとジェスチャー

山田正義



『『ジーニアス英和』の〈3きょうだい〉』がついに完成しました（〈きょうだい〉は男女を問わない表記：sibling 参照）。その名も『アクシス ジーニアス英和辞典』（以下 AG）です。その『アクシス』axis の意味を AG 自身で確認します。

***ax·is** /æksɪs/ ㊦ ㊦ **ax·es** /æksɪz/ ㊦ ㊦ 軸，軸線；
〔数〕（グラフの）軸；〔幾何〕中心線，対称軸 || the **axis**
of the earth = the earth's **axis** 地軸 / the **verti-**

高校生から社会人・プロを対象にした『ジーニアス英和辞典』，その基礎編『ベーシックジーニアス英和辞典』，そしてこれら2辞書の架け橋としての vertical axis「縦軸」が AG です。

また英語の辞書というと，聞く・読むための「英和辞典」，話す・書くための「和英辞典」という棲み分けが一般的で，ジーニアスファミリーにも『ジーニアス和英辞典』があります。AG はこのファミリーをつなぐ horizontal axis「横軸」にもなっています。その例として，ここでは「受信」と「発信」の「軸」となる「チャンク英会話」と「ジェスチャー」を見ていきます。

◆チャンク英会話

チャンクとは，会話中に「塊」で使う「定型表現」，いわゆる「とっさの一言」のような表現です。例えば，“What do you say to taking a walk?”（散歩に行きませんか）のような表現は，文法で理解するよりも，「提案をする時は What do you say to ...?」と覚えてしまったほうが早いということです。このチャンクが載っている say㊦成句

には，2つの会話用例があり，応答の仕方も学べるようになっています。▽“What do you say to going for a drive?” “Good ideal” \ 「ドライブはいかがですか」「いいですね」▽“What do you say to taking a walk?” “Not now but later.” \ 「散歩にでも行こうか」「今じゃなくて，後で」。

生徒に単語を調べさせた時に，「チャンク英会話」を参照させることもできますし，次のようにクイズ形式で導入するのもいいでしょう。

①許可を求められて快諾する時は？

⇒ Go ahead. : “Can I borrow your cell phone?”
“Yes, go ahead.” 「携帯電話を借りてもいいですか」「ええ，どうぞ」（→ ahead ㊦成句）

②同情して「残念だ」「気の毒に」と言う時は？

⇒ That's too bad. : “I fell down the stairs yesterday.” “That's too bad.” 「昨日階段から落ちたんだ」「気の毒に」（→ bad ㊦成句）

③大事なことはないのだから「誰も気にしない」と言う時は？

⇒ Who cares? : “His father is a famous lawyer.”
“Who cares?” 「彼の父親は有名な弁護士よ」「そんなこと，どうでもいいよ」（→ care ㊦成句）

入試問題にもチャンク英会話が見られます。平成29年度センター試験本試験では，次のような並べかえの問題が出題されました。

Rita : Daniel and I have to go home now.
Father : Oh, __ 22 __ __ 23 __ usual? I thought
you were going to stay for dinner.

- ① are ② earlier ③ how come
④ leaving ⑤ than ⑥ you

「もう帰らなきゃ」といわれた Father が “Oh” と驚いて何と言うかですが、これも「驚いて理由を尋ねる時は How come?」を知っていれば、出だしは③とわかります。あとはこのチャンクのある how 成句の解説「why と異なり平叙文の語順でよい」に従って並べかえて how come you are leaving earlier than (usual?)。また注記には「時に感情的な表現になるので目上の人には使わない方がよい」ともあり、この問題では、父親が娘に言っているのが適切といえるでしょう。

◆ジェスチャー

コミュニケーションには、「チャンク英会話」のように言葉によるコミュニケーション verbal communication と、言葉以外のコミュニケーション non-verbal communication があります。後者の代表的なものがジェスチャーですが、日英で異なる意味合いを持つものもあります。例えば日本語で「目を細める」といえば、うれしい時や愛らしいものを眺める時の動作ですが、英語では AG によると「“You are late again,” said the boss, narrowing his eyes. \「また遅刻したな」と社長は険しい目つきで言った《◆日本語の「目を細める」とは異なり, narrow one's eyes は通例疑惑・怒りなどの表情を示す》(→ eye 図成句)」です。

AG ではジェスチャーをイラストで紹介しつつ、どんな気持ちを表すかの解説もあります。

high-five 動自 ハイファイブ [ハイタッチ] をする。
—図 = high five.
high five 図 ㉔ 《主に米》ハイファイブ、ハイタッチ《スポーツなどで喜びを表すために(頭上で)手をパチンと合わせること; *high touch とはいわない》。



high five

「ハイタッチ」は生徒もよく使う言葉ですが、英語ではそう言わないことが解説されています。AKB48の歌に *Give me five!* がありますが、もちろんこの表現も AG は取り扱っています。

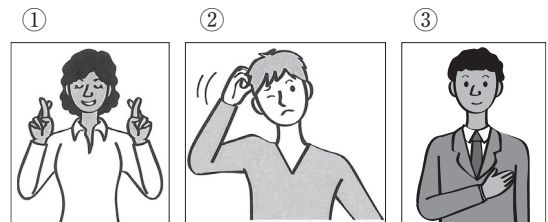
Give me five! 《くだけた》ハイタッチしよう《◆ 何かうれしいことがあった時に自分の手のひらと相手の手のひらを合わせるよう誘う。この動作を high five という》。

この動作もそうですが、ジェスチャーの項目を参照するときは、そのジェスチャーを実際に生徒にさせてみるのもいいでしょう。体感することで印象に残りやすいと思われます。その時にはこれらのイラストが参考になるでしょう。

また、次のような英文に示されたジェスチャーがどんなものかをペアで考えたり、互いにその動作をしてみて相手に判断してもらうゲームなども思考力・判断力の育成につながるでしょう。ゲーム後は AG の該当箇所を確認させます。

- ① keep one's fingers crossed
- ② scratch one's head
- ③ put one's hand on one's chest

【答】(AG のイラストと解説を確認する)



- ①◆魔よけ・願ひ事のしぐさ (→ finger 図①関連)。
- ②考えごとをしたり当惑したりした場合のしぐさ; 日本語のような「照れ隠し」の意味はない (→ hand 図成句)。
- ③うそをついていないことを示したり国旗に対して敬意を表したりする動作 (→ chest 図①関連)。

(やまだ まさよし・関西大学非常勤講師)

こんな新語を加えました

黒川尚彦



◆インターネット・SNS に関連することば

誰もがスマホを持つ現在では SNS 利用者も多く、それを代表する語が以下の 2 語である。

・instagram^名 [Instagram] ^U (商標) インスタグラム《無料の画像供給サービス、またこれを利用するためのアプリ》、^{動他自} (…を) インスタグラムに上げる。

・instagrammable^形 インスタ映える。

テレビよりネットを利用する時間が長い人も増え、ネット番組の充実からこんな語が生まれた。

・binge-watch^{動他自} (番組など) を一気に見る。

学校のクラブ活動として話題となり、近年プロも増えつつあるものと言えば、これ。

・e-sport, esport^名 ^C [通例複数] e スポーツ《複数のプレイヤーが対戦するコンピューターゲームをスポーツとして捉えた名称》。

◆新技術に関連することば

新技術のほとんどが情報科学関連である。IoT (Internet of Things) は近年のキーワードの 1 つであり、smart speaker はその代表的製品である (どちらも新語として収録)。この製品に搭載されている AI は次の手法に支えられている。

・deep learning^名 ^U ディープラーニング、深層学習《脳神経回路をモデルとした機械学習手法》

このような先端技術を知ると未来が見える。そんな未来が反映されているのが次の 2 語である。

・self-driving^形 (コンピュータによる) 自動運転の。

・mixed reality^名 ^U 複合現実《現実世界と仮想世界を融合した世界、またそれを実現する技術；^略MR》。

何事にも光と陰があるが、先端技術の間は気づかないうちに忍び寄っていることがある。餌食 (bait) にならないようにしたいものだ。

・click-bait, clickbait^名 ^U クリックベイト《ウェブサイトの閲覧者にクリックさせるような文言の広告》

◆メディアに関連することば

情報過多の現在、その処理だけでも苦勞するの、その真贋まで見極める必要が生じるとは。

・fake news^名 ^U フェイクニュース。

メディアに社会問題として取り上げられた次のことばも新たに加えられた。

・hate speech^名 ^U ^C (特定の人種・宗教などに対する偏見に基づく) 憎悪発言、ヘイトスピーチ。

新語は話題にのぼり目をひくことが多いが、新義にも注目してもらいたい。意味の変化もことばの重要な側面である。たとえば、スマホやタブレットの操作には欠かせない swipe (スワイプする)。また、SNS では友達作りが手軽な反面、その関係を切ることも容易にできる (ghost : 〈人〉との一切の連絡を急に断つ、着拒する)。ここでは紹介しきれなかった新語・新義は多数あり、発見の楽しみを残しておきたい。

(くろかわ なおひこ・大阪工業大学講師)

辞書に「載せない勇気」 ——下位ランクの語とどう向き合うか

関山健治



◆ BG と G5の橋渡しをする「ふだん使いの辞書」

「令和初」の高校生向け学習英和辞典である『アクシスジーニアス英和辞典』（AG）には、chatbot, Brexiteer, deep learning, e-sport, fake news など、『ジーニアス英和辞典』（G5）や他社の最新版辞書にも立項されていない新語が多く収録されている。一方、ページ数が限られる冊子辞書では、やみくもに単語を増やすことはできない。そのため、辞書の執筆者は「何を載せるか」以上に「何を載せないか」に頭を悩ませることになる。

AG は、『ベーシックジーニアス英和辞典』（BG）と G5 の間を埋める辞書である。難関大学を含めた大学入試や、大学での英語科目にも余裕を持って対応できるように、BG よりも語句を増強する一方、G5 に収録されている下位ランク語を大幅に整理することで、高校生以上の英語学習者が気楽に手を伸ばせる「ふだん使いの辞書」であることをめざした。

筆者は、G5 に収録されている D ランク（無印）の語を中心に、AG の利用者が必要とする語を抽出する作業を主に担当した。BG の見出し語を選定する際に構築した 50 数万語の英語語彙表データベースを活用し、低頻度語の中で AG の利用者が必要とする語はどのようなものかといった原点に立ち返り、以下の 2 点を基本に収録語を選定した。

◆ 学習者が目にする機会の少ない専門語の見直し

G5 に専門分野ラベルをつけて立項されている専門語の中には、大学入試や英語の資格試験、一

般的な英語メディアなどでまず見かけない分野の語も多い。これらの語は、英語母語話者向けの教科書なども参考にしながら大幅に整理した。医学用語を例にとれば、myelitis, Hodgkin's disease といった語は、AG のレベルを超えていると言える。一方、Heimlich maneuver, hyperventilate など、高校生が保健の授業で学習する用語であるのに類書に未収録の語句は、G5 と同様に収録するようにした。

◆ 古めかしい語や使用域が限られる語の見直し

G5 の D ランク語の中には、特定の地域のみで使われる語や、古めかしい語、タブー語なども多く含まれている。とくに《古》や《俗》のラベルのついた語は、実際の英語での出現頻度や、初中級レベルの英語学習者を対象とした英和辞典に必要な語であるかを念頭に置き、採否を慎重に判断した。

◆ 「載っていない」ことも誇れる辞書をめざして

冊子辞書の執筆は限られた紙数との戦いである。引いた単語が出ていないと誰もががっかりするであろうが、執筆者や編者が「AG の利用者は知らなくても心配ない難語である」と判断した結果であると考えてみてはいかがだろうか。収録項目数の多さを誇るオンライン辞書が普及した今だからこそ、利用者の使い勝手を最優先に考え、時には「載せない勇気」をもって収録語句を精選した AG を、ぜひ身体の一部として使いこなしていただきたい。（せきやま けんじ・中部大学准教授）

「語義ツリー」を授業で活用する

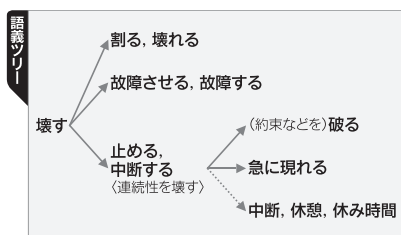
四方雅之



◆多義語の理解を助ける「語義ツリー」

何でも書いてある。英語のプロフェッショナルの要求にも応える。これが兄貴分の『ジーニアス英和辞典』の魅力です。その反面、中学生・高校生には圧迫感があることも事実。『アクシスジーニアス英和辞典』には、学習者に対する「優しさ」が込められています。

優しさの代表が「語義ツリー」です。特に基本語に対して、あれもこれもと訳語を学習者に押しつけることはありません。「中心の意味」、つまりコア・ミーニングに目が向くように仕向けられています。break を例にとってみましょう。



break の「中心の意味」を「壊す」と定めた上で、枝分かれ式になっています。特に、「壊す」から「中断する」の意味が生まれ、点線で「休み時間」の名詞の意味が生まれたことがわかります。実にわかりやすい概念図です。

「多義性」を持つと学習者は悩みます。She broke the window. と She broke the promise. を比べてみましょう。「窓を割った」と「約束を破った」の訳を別々に覚えようとする学習者は悩み、苦しみます。一方、目に見えるもの（窓）を「壊す」という行為と、目に見えないもの（約束）を「壊す」という行為は、ともに break で表す、

と理解する学習者は学ぶことを楽しめます。共通点が見えるからです。

break のような「基本語」の「多義性」は学習者を悩ませます。たとえば、同じ「壊す」の意味を持つ他の関連語を田中（1993）から引用してみます。[破損する] crack, crumble, crumple, crush, destroy, disintegrate, fracture, lacerate, rip, shatter, smash, snap, split, tear ; [違反する] encroach, infringe transgress, trespass, violate ; [断つ] disconnect, disrupt, interpose, interrupt, intervene などです。これらは break と比べると「多義性」が薄くなります。それぞれの語が、それぞれの「壊し方」を表しており、break と比べるとその語の持つ意味が狭くなります。

ところが break は使われる場面、つまり「文脈」によって意味が変わるのです。これが「多義性」の理由です。そうなると、授業では基本語ほど文脈をきちんと提示して指導する必要があるといえます。つまり、基本語ほど教師の腕前が試される、と心得るべきでしょう。

◆「語義ツリー」を活用した語彙指導計画

『アクシスジーニアス英和辞典』の「語義ツリー」と例文を眺めてみましょう。中学高校で指導すべき例文が浮かび上がってきます。そのいくつかの例を対象学年とともに掲げることになります。学年は私の指導経験に基づいて割り振りました。学年が上がるにつれて抽象度も上がります。[壊す, 割る]

She broke the window. (中1)

She broke her leg. (中2)

She broke my dish into pieces. (中3)

[故障させる, 故障する]

She's broken her smartphone three times. (中3)

Her watch has broken. (中3)

[止める, 中断する]

She broke her habit of eating between meals. (高1)

A knock on the door broke my thoughts. (高2)

[破る]

She broke the promise. (中3)

[急に現れる]

The sun broke through the clouds. (高2)

[中断, 休憩, 休み時間]

We have a ten-minute break between classes. (高1)

She took a career break. (高2)

break のような基本語は, 複数の学年をまたぎ, 何度も繰り返し学習者と出会わせるのが理想です。そして, その過程で徐々に抽象度を上げていくのがよいでしょう。「語義ツリー」は, その指導計画のヒントを与えてくれます。

◆授業内での「やり取り」の例

「学習指導要領」に指示されるまでもなく, 英語の授業は英語で, 学習者との言葉の「やり取り (interaction)」で指導することは常識と考えましょう。ここでは『アクシスジーニアス英和辞典』の「語義ツリー」と例文をもとに考えた授業での「やり取り」を学年別にお示しします。[] 内は教室の状況, () 内は生徒の発話です。

a. 中学1年

[女子が窓を壊している絵を見せて] Look at this window. Did Bob break it? (No.) Did Jeff break it? (No.) Who broke it? (Mary did.) Right! Mary broke the window. Class! (Mary broke the window.) Good!

b. 中学3年

[女子二人が口論をしている絵を見せて] Look at this picture. Who are they? (Mary and Lucy.) Right! What are they doing? (They are talking.) Right. Do they look happy? (No. They look angry.) Right! They are arguing. What are they arguing about? They promised to eat out last night, but Mary did not come, so Lucy became angry. In this case, Mary broke something. What did she break? (Mary broke the promise.) That's right! Mary broke the promise to eat out with Lucy. Class! (Mary broke the promise to eat out with Lucy.)

c. 高校2年

Do you have some bad habits? I have some bad habits. I cannot stop eating between meals. How about you? (I often eat sweets.) Oh, I do too! Do you want to break your habit? (Yes. I want to break my habit.) Me too! I feel like eating sweets while I am studying. What can we do to break our bad habit? (We should concentrate on studying.) Right. But a slight smell of sweets breaks my thoughts. I feel like stopping studying. (Oh, it's very difficult for you to break your bad habit.) I think so too.

上記の中学の事例は, 典型的な口頭導入例といえます。しかし, 高校段階になると, 教師と生徒の「やり取り」はもっと自然なものになるはずで, 教師は意識して, break という語を使い, 生徒にもその用例が伝染するように努めます。教室は楽しい雰囲気になるはずです。

『アクシスジーニアス英和辞典』の「語義ツリー」を授業で楽しく扱うヒントとなれば幸いです。

[参考文献]

田中茂範 (1993) 『英単語ネットワーク・基本動詞編』 アルク

(しかた まさゆき・成蹊中学・高等学校教諭)

進化する和英小辞典 ——入りたい単語、入れない単語

森口 稔



◆見出し語数

辞書の目的が、知らない単語を調べることであると考えると、その収録語数は多ければ多いほど良い。「調べたのに載っていない」という経験を一度でもすると、学習者の辞書への信頼は薄らいでしまう。しかし、当然のことながら、紙幅の問題など様々な事情によって、無限に収録語数を増やすことはできず、それぞれの大きさに合わせた妥当な語数に収まる。たとえば、大修館書店のホームページによると、『ジーニアス英和辞典 第3版』には8万3000の語句が収録されている。8万語もあると考えるべきか、8万語しかないと考えるべきか。

いずれにしろ、英和辞典の付録としての和英小辞典では、その制限はさらに厳しい。倉島(2000)によると「大小にかかわらず国語辞典が共通に載せている語は三万弱」とあり、それならば、せめて3万語程度は必要なのかもしれない。ただ、『アクシスジーニアス英和辞典』が高校生レベルであることを考えるならば、必要とされる日本語も若干少なくなる可能性はある。

今回の和英小辞典の編集作業は、『ベーシックジーニアス英和辞典 第2版』付録の和英小辞典のデータを元に行った。約800語を削除し、約1100語を追加して、その結果、約2万5000語を収録している。以下、その詳細を紹介する。

◆割愛した語

5年ほど前、ある国語辞典改訂の仕事をしていたときのことである。筆者の役割は、改訂前の版

に目を通し、加筆修正すべき点を列挙することだった。追加すべき見出し語や書き換えるべき語義を挙げ、月に1回レポートを出していたが、あるとき出版社から「削除すべき見出し語も提案してください」と言われた。ところが、これがなかなか難しい。というか、かなりの勇気が必要とする。

上述したように、「調べたのに載っていない」という状況は避けたい。それに、そこにある見出し語は、これまでの編者や執筆者が何らかの思いを持って入れたはずである。かと言って、誰も引かない語を入れておく意義はない。

今回の和英小辞典では、勇気を振り絞って、以下のような単語を元データから割愛した。

- (a) 中学1年生レベルの基本的すぎる単語
- (b) 多義語
- (c) 高校生が使いそうにない古い日本語
- (d) 漢語や和語に同じ意味があるカタカナ語
- (e) 日本語化しているアルファベット語

数えたわけではないが、感覚的には、(a)が最も多い。1冊の書籍としての和英辞典であれば、基本的な単語でも、用例や慣用句や複合語を記述することで収録する意味がある。しかし、和英小辞典では、基本的には見出し語に対する訳語のみを載せる。そのため、「男の子」「五」「だが」「何」「半分」などの語は割愛した。

(b)は(a)とも重複するが、基本的な多義語を和英小辞典で適切に記載することは困難と考えて割愛した。たとえば、「事(こと)」「…と」「前(まえ)」「やる」「良い」である。

(c)については、幸い、筆者の息子たちが高校を

卒業して数年しか経っていないため、筆者の直観だけではなく、高校生が使いそうにない単語を彼らに確かめながら、削除していった。たとえば、「アノラック」「アフロヘア」「チョッキ」「とらの巻」などである。

(d)は、カタカナ語としてよく使われるが、和語や漢語にも同じ意味の語が存在する、「スイミング」「ペーパー」「マーケット」などである。ただし、「ペーパーナイフ」のような複合語は入れた。

(e)としては、「ティー」「ナサ」などを削除した。

◆追加した語

上述した語を割愛した上で、以下のような語句を追加した。

- (a) 新語や若者言葉
- (b) 高校の授業に関連する語句
- (c) 日本文化に関連する語句
- (d) オリンピック・パラリンピック種目
- (e) 擬音語・擬態語

(a)としては、新語関連の文献を参照し、高校生が使いそうな単語を収録した。

つゆだく plenty of sauce

ツンデレ usually cold and sometimes sweet

真逆 completely opposite

萌え a fascination, a crush ; [感動詞的に]

How cute!

(b)は、数学・理科・社会・保体の高校教科書の索引から、専門的になりすぎない範囲で拾った。

基本的人権 fundamental human rights

実存主義 existentialism

生活習慣病 lifestyle disease

天気図 weather map

度数分布表 frequency distribution table

(c)は、インバウンド観光客の増加を意識し、以下のような語を加えた。

あみだくじ lattice-pattern lottery

文楽 puppet show

密教 esoteric Buddhism

妖怪 [怪物] monster ; [幽霊] ghost

(d)を追加したのは、東京オリンピック・パラリンピック開催を控えてのことである。また、この機会に冬季五輪種目も入れている。

近代五種競技 the modern pentathlon

車いすテニス wheelchair tennis

ノルディック複合 Nordic combined

ボッチャ Boccia

ボルダリング bouldering

(e)については、日本語における擬音語・擬態語のバリエーションを考えると、際限がなくなるので、最低限に留めた。

おいおい泣く cry hard [bitterly]

カチンとくる get mad

へらへら笑う giggle foolishly

ヨチヨチ歩く toddle along

◆注意すべきカタカナ語

見出し語の増減以外に修正した点の一つにカタカナ語の注記がある。以下のように、カタカナ語と英語が異なる場合は、*を付けて注意を促した。

オーダーメイドの* custom-made

バイク* motorcycle

ベニヤ板* plywood

ホッチキス* stapler

◆本格的な和英辞典の使用に向けて

この和英小辞典は、あくまで英和辞典の付随的存在である。もちろん、高校生の英語学習の参考になれば幸いだが、そこで満足せず、高校生たちが本格的な和英辞典に手を伸ばしてくれることを切に望む。

【参考文献】

倉島節尚 (2000) 「語数をめぐるせめぎ合い」『言語』第29巻5号：64-69.

(もりぐち みのる・京都外国語大学非常勤講師)

特集：英語学習の「軸」となる『アクシスジーニアス英和辞典』誕生！

英語の発信力を伸ばす 巻頭口絵 Let's Talk in English!

編集部



◆生徒が英語で表現したくなる場面を設定

『アクシスジーニアス英和辞典』の巻頭口絵 Let's Talk in English! は、生徒が英語で表現する具体的な場面をイラストで設定して、そこで必要な語彙や英語表現をまとめたものです。内容は下記の通りです。

- ・ 一日を英語で表現しよう
- ・ 日本文化を英語で説明しよう
- ・ スポーツ観戦
- ・ 料理の手順の言い方を知ろう
- ・ データを使って説明しよう
- ・ プレゼンテーションとディスカッション

・ 体の部位と動き

・ 天気予報

東京オリンピック・パラリンピックを来年に控えて日本を訪れる観光客も増加し、また海外研修や修学旅行等で外国を訪れる機会も増えてきた近年、生徒が日常生活で英語を使う場面も増えてくると思われます。また、英語の授業の中でも、会話練習や発表をすることも多くなってきたと思います。日常生活や身近なものの説明から、学校での英語のやりとりや発表など、楽しいイラストで具体的な場面を設定しました。

04

Explaining Japanese Culture

日本文化を英語で説明しよう

fireworks 花火

Fireworks were introduced to Japan in the 16th century and became popular in the Edo period. Firework displays are held throughout the country in summer. 花火は16世紀に日本に伝わり、江戸時代に人気が出ました。夏には各地で花火大会が開かれます。

(Shinto) shrine 神社

boxed lunch 弁当

People prepare a boxed lunch at home and bring it on a picnic or to cherry blossom viewing. Boxed lunches are available at convenience stores or supermarkets. ピクニックやお花見に行くときには、家で弁当を作って持っていくます。弁当はコンビニやスーパーでも売られています。

hot spring 温泉

Japanese hot springs are very refreshing and good for your health. You can also enjoy staying at a traditional-style hot spring inn. 日本の温泉はとても気持ちよく健康にいいです。伝統的な温泉宿に泊まることもできます。

05

Let's Talk in English!

The tea ceremony was perfected in the 16th century by Sen no Rikyū, the famous tea master. It is a traditional art that is typical of Japanese culture. 茶道は16世紀に有名な茶人である千利休によって完成されました。茶道は日本文化の特徴を示す伝統的な芸術です。

tea ceremony 茶道

(Buddhist) temple 寺

castle 城

rock garden 石庭

morning market 朝市

volcano 火山

anime アニメ

The word "anime" was originally the shortened form of an English word "animation." Now Japanese anime is popular all over the world. 「アニメ」という単語は、元々英語の animation の略語でした。現在、日本のアニメは世界中で人気があります。

Show & Tell

① 何の写真？
This is Tokyo Skytree. (これは東京スカイツリーです)
② それはどういふもの？
It is the highest tower in Japan and 634 meters high. (日本で一番高いタワーで高さは634メートルです)
③ もう一言付け加えよう
The view from the observation deck is just wonderful. (展望台からの景色は素晴らしいです)

◆使える表現を豊富に収録

それぞれの場面で使える英語表現を多数収録しました。「日本文化を英語で説明しよう」のページでは、「花火」「アニメ」などをそれぞれ2文の短い簡単な英文で説明しています。また、ページ右下の〈Show & Tell〉では、3文で東京スカイツリーを説明する例を掲載しています。これらをモデルに他の伝統文化や観光スポットなどを英語で紹介する活動につなげることができます。

高校生が英語でのプレゼンテーションやディスカッションをする機会も珍しくなくなってきました。「データを使って説明しよう」では、図表の名称の他、データを使った説明のしかたを例示しています。「プレゼンテーションとディスカッション」では、論理展開を表すフレーズや意見の表明など、必要な表現をまとめて示しました。

◆スマホアプリで学習の幅を広げる

この巻頭口絵は、無料のスマホアプリ「ジショ

サポ」に対応しています。ジショサポでは該当のページをカメラで撮影すると、そのページに対応した音声や動画、ドリルなどが利用できます。巻頭口絵に対応したコンテンツは、音声付きフラッシュカードと Listening Challenge! (動画) です。Listening Challenge! は、音声を聞きながらそれが表す写真や図を選ぶもので、入試や外部試験などのリスニング問題に近い形式の練習ができます。

ジショサポのコンテンツは巻頭口絵以外にも、本文の重要語や「チャンク英会話」、巻末付録「Typical Mistakes 100」に対応したものも用意されています。紙の辞書の情報に音声・動画を組み合わせることで学習効果が高まり、リスニングやスピーキングに役立つ音声面の強化も期待できます。タブレット学習で使えるほか、家庭や通学中での自習教材としても活用できます。

●「ジショサポ」コンテンツ（一例）

どちらの写真の説明？

■ 英文を聞き取ってください ■




A
B

Listening Challenge!

チャンク英会話 1 3

● 相手が驚くような真実を伝える時は
believe it or not

“Have you fixed the date for the meeting?”
“Believe it or not, I can't find anywhere to hold it.”

☒ 英→日
☐ 英→英
☐ 音声 ON
☐ 読み取り
☐ スピード
☐ 標準
☐ リスト順
☐ チェック制



「チャンク英会話」フラッシュカード

🐾🐾🐾🐾

問題

「だれも彼の言ったことが理解できなかった。」の英文として、正しいのはどれでしょうか。

Anyone couldn't understand what he said.

No one could understand what he said.

解説

次へ
→

始めから

「Typical Mistakes 100」○×ドリル

★「ジショサポ」について詳しくはこちら →



特集：英語学習の「軸」となる『アクシスジーニアス英和辞典』誕生！

『アクシスジーニアス英和辞典』と 『ジーニアス総合英語』の連携

中邑光男



◆辞書と総合英語の連携

『アクシスジーニアス英和辞典』（AG）を編纂するにあたっては、学習者が英文法をより効果的に学べるように、『ジーニアス総合英語』（G総合）と積極的に連携させた。本稿では、まずどのようにAGとG総合を連携させたのかを述べ、次にその2つを併用することで可能になる指導例を紹介したい。

AGとG総合との連携の中で最も目に付くのは、(1)G総合に載っているモデル文をほぼすべてAGの用例として取り入れたこと、(2)G総合にあるQuestion Boxという名前のコラムをAGでも設け、辞書ならではの特定の見出し語に焦点を当てたQ&Aを掲載したことであろう。このようにAGとG総合を連携させることによって、例えば生徒がG総合で学んだことをAGで確認する場合、文法的な事項に加えてコミュニケーションに役立つ情報も理解しやすいだろう。

上記の2の工夫に加えて、G総合の文法に関する説明をAGにも積極的に取り込んだ。例えば、G総合の第13章「名詞」では、advice, fun, informationなどの9つの名詞について「抽象名詞の中には、普通名詞として使われることのない純粹の抽象名詞があり、それらは形容詞で修飾されても不定冠詞はつかない」と説明した。AGではそれを踏まえ、例えば見出し語adviceでは「adviceは[C]名詞として使われることのない純粹の抽象名詞。したがって、形容詞に修飾されても不定冠詞は付かない」という注記を加えた。

別の例では、G総合の第1章「基本動詞と文

型」で取りあげた＜SVO₁O₂＞で使われるgive型の動詞とbuy型の動詞について、AGではそれぞれ「《語順については→give動他①語法》」、 「《語順については→buy動他①語法》」と示し、語法の欄ではG総合に準ずる説明を挙げた。AG全体では56のgive型の動詞を、また32のbuy型の動詞をこのようにG総合に連携づけた。

◆AGとG総合の連携を活用した学習例

ではAGとG総合の連携をどのように活用し、学習に結びつけることができるのであろうか。ここではいくつかの例を紹介したい。

まず、生徒は、G総合で学んだ内容をAGによって深化させることができる。これがAGとG総合を使った基本的な学習方法になるだろう。

例えば、G総合の第16章「形容詞」では国名の形容詞であるJapaneseに関連してJapanese, the Japanese, Japanese peopleを挙げ、それぞれのニュアンスを説明している。AGは、G総合とほぼ同じ例文や説明文を与えた上で、we Japaneseという表現は排他的に聞こえるなどの情報を加えた。

別の例では、cannot help doingという表現について、G総合では「～せずにはいられない、思わず～してしまう」という意味であり、「この表現は主語が自分の行為をコントロールしようと思ってもできない場合に使われる」と説明した。AGではこの表現をQuestion Boxで取りあげ、G総合の内容に加えて、「…せざるをえない」という意味を表すとされるcannot help doingと

have no choice but to を取りあげ、前者は「思わず…してしまう」という意味、後者は「…以外に選択肢がない」という意味を表すと解説し、この2つの表現の違いを明らかにした。

次に、生徒は、ある語について AG で学んだことが他の語にも当てはまることを G 総合で確認することができる。多くの生徒は、ある語を辞書で調べて学んだことは、その語だけに当てはまるように感じるだろう。しかし、英語を勉強していくにつれて、同じような振る舞いを見せる単語は他にもあり、それらを整理して学習の方が効果的だとわかってくる。

例えば、AG で convenient の項を引くと「When is it convenient for you? 都合がいいのはいつですか ◆× When are you convenient? のように人を主語にはできない。」という記述がある。ここから、G 総合の第16章「形容詞」を参照すると、convenient のように人を主語にできない形容詞として、他に natural や necessary などの7語が挙げられている。

さらに、生徒は、AG 巻末付録の Typical Mistakes のうち、文法上注意すべき項目について間違いの理由を G 総合で調べることによって、関連して起こるかもしれない間違いを防ぐことができるだろう。Typical Mistakes には、語彙に関する間違いに加えて、文法に関する間違いが含まれている。例えば、「彼女はお母さんに大変よく似ている。× She resembles to her mother very much. ○ She resembles her mother very much.」であり、この間違いは、自動詞と間違えやすい他動詞 resemble に関するものである。

そこで生徒に、G 総合を使い、She resembles to her mother... が非文である理由を調べさせ、resemble 以外にも approach, attend, contact などにも注意すべきだと気づかせる。もし生徒自身が resemble よりも marry を間違って使ってしまうと考える場合には、AG の Typical mistakes の項目を書きかえて、My Typical Mistakes を作

らせるのもおもしろいだろう。

最後に、生徒は、AG の「語義ツリー」にならって、前置詞などの「語義ツリー」を作ることによって、語義についてより深く考えることができるだろう。AG では on などの前置詞に対しては「イメージ図」をつけている。その図をスタート地点として、それに関連していると思われる重要な語義を選び、それらを線で結びつけていくという課題を与えるのである。

例えば、G 総合では、前置詞 on について「場所を表す on の用法」や「時を表す on の用法」を挙げ、また「注意すべき on の意味」として「同時」や「着用」などの7つの代表的な用法を示している。AG ではそれ以外にも、「付着」、「支点」、「比較の対象」、「不利益」などを挙げている。それらの語義の中で関連するものを考えさせるという課題である。生徒はふだん前置詞に特別の注意を払うことは少ないだろうが、前置詞の語義に能動的に関わることで、こういう小さなことばにも関心を持つかもしれない。前置詞は言うまでもなく試験によく出る文法事項である。

英語学習者という長距離ランナーにとり、G 総合は「地図」で、AG は実際に走る「道」にたとえることができる。AG を使い個々の単語と付き合いながら、同時に、その語の情報は文法的にどのような意味を持つのかを G 総合で確認することによって、学習者はやみくもに英語を学ぶのではなく、考えながら、効率的・能率的に学ぶことができるだろう。

このように考えると、AG と G 総合の本当の意味における連携は、学習者の頭の中で起こるべきだと思えてくる。AG 編纂において AG と G 総合を連携させたのは、生徒のこの連携の作業を少しでも手伝うためであったと気がつくのである。AG と G 総合の有機的連携により、生徒が、語彙にも文法にも強い学習者になることを念じている。

(なかむら みつお・関西大学教授)

英語教師が知っておきたい日本語のしくみ

英文法・英作文指導に活かす
高嶋幸太 著

四六判・208頁・
本体1,700円＋税

[評者]
佐藤誠司



読み物としても中高の英作文指導の手引書としても役立つ一冊

日本語教師として海外・国内で豊富な指導経験を持つ著者は、本書のねらいとして、①日本語を深く理解する、②日本語を知ることによって英語への理解をより一層深める、③英語の文法説明やライティング指導などで日本語文法の知識を役立てる、の3点を挙げている。

6章構成で、受身・使役・敬語・時制・語句の対応などさまざまな表現形式における日英の違いと、和文英訳の指導を行う際の注意点が詳しく説明されている。以下、本書中の例題と説明より紹介する。

1. 父は今ロンドンです。
 2. このケーキは私が食べます。
- 「は」は主題（「～に関して言えば」を表す）。1の「父」は主題かつ主語（動作・状態の主体）でもある。2の「このケーキ」は、主題だが主語ではない。この違いが英訳に影響する。
3. 机の上にバッグがあります。
 4. 私のバッグは机の上にあります。

「ある／いる」を使った日本語の文には、存在文と所在文とがある。存在文には新情報を表す「が」が使われ、there構文で英訳する(3)。所在文には旧情報を表す「は」が使われ、通常のSV

の文型で英訳する(4)。

5. 父は今、テレビを見ています。
6. この鳥は死んでいます。

「～ている」が、5では「進行・継続」を表し、現在(完了)進行形で英訳する(is watching)。6では「結果の状態」を表し、形容詞・過去分詞などで英訳する(is dead)。そのほか「～ている」は、習慣・反復、経歴・経験などの意味に応じた時制を使う。

また、随所に出てくる日本語と英語の文法用語の比較が興味深い。たとえば次のようなもの。

- ・英語の形容詞の用法は叙述と限定の2つだが、日本語の形容詞は連用形が「副詞的用法」を持つ(例：頭が重く感じる)。
- ・日本語の受身は、①直接受身、②間接受身、③持ち主の受身の3種類。②③は英語の受動態に対応しない。
- ・日本語のタ形(「行った」など)が過去・完了なら過去形・完了形で英訳するが、モダリティ(発見・想起・確認・命令など)なら過去形は使わない。

英語教師なら誰もが経験するように、多くの学習者は日本語と英語を1対1で対応させようとする。だから「それを買った」はI bought it. と英訳できても、「それを買います」をI buy it. と誤訳してしまう。本書によれば、この例ではル形が話者の意志を表す(だから英訳にはwillを使う)。このように本書中の日本語文法に関する知見は、英語教師にとって教えられるところが大きい。また本書に収録された和文英訳などの豊富な例文は、中学・高校での英作文の指導に大いに役立つだろう。

(さとう せいし・
佐藤教育研究所代表)

英語教師のための「実践研究」ガイドブック

田中武夫、高木亜希子、藤田卓郎、滝沢雄一、
酒井英樹 編著
A5判・272頁・
本体2,200円＋税

[評者]
小林大介



暗黙知を実践知へ。現実と理想の狭間で葛藤する教師のための成長ガイドブック

英語教育において「実践研究」に対する注目度が高まっている。しかし、興味・関心はあるもののなかなか踏み込めない、あるいは具体的に何をするのかわからないなど、「実践研究」に対する印象には個人差があるのが現状であろう。

教育に携わる全ての人に共通しているのは、目の前の児童、生徒、学生の成長を願い、現実と理想の狭間で日々葛藤しているということである。その中で獲得してきた「暗黙知」を「実践研究」を通して「実践知」として発展させ、教師の成長を促してくれる心強い味方が本書である。

本書は、全9章で構成されている。「ガイドブック」と書名にあるように、「実践研究」の進め方が具体例を交えながら順を追って丁寧に説明されており、第1章には実践研究の基礎知識が過不足なく記されている。続く第2章では8つの事例が紹介されており、この2つの章を読めば「実践研究」とは何か、そしてその方法や過程がいかに多様であるかを理解することができる。

第3章では、「実践研究」の肝

である「問いの立て方」について述べられている。問いを立てる上で必要な先行研究の情報源を提示してくれているのも有難い。

第4章から第7章までは、研究に客観性を持たせる「データ」について述べられている。

第8章では「口頭発表」と「論文」を軸に「実践研究」を共有・公開する意義と方法を学ぶことができる。

最終章では、「実践研究」が教師にもたらす効果や、教師が「実践研究」に取り組む上での課題について記されており、これまでの章を読んだうえでその足を踏んでしまう読者の背中を優しく押してくれる。

本書は、「実践研究」を通じて読者を成長へと導く“メンター”と、様々なテーマの研究を例として提示しながら視野を広げてくれる“仲間”という2つの軸が常に読者に寄り添う形で展開される。

また、本書が対象とする読者は英語教育に従事している教員や学生、院生に止まらない。その内容は校種や教科を問わず、「実践研究」に興味を持っている全ての方にとって有益であろう。さらには2022年から実施される新学習指導要領における「総合的な探究の時間」のような課題研究を柱とする科目でも参考図書としてお薦めしたい内容である。

まずは日々の教育実践を思い浮かべ、その上で本書を手にとってほしい。そして本書を読み進めながら、自身の実践を言語化し、段階を追って実践研究へと繋げ、自身を成長させてもらいたい。その成長は必ず学びの深化として日々の実践に還元されるはずである。

(こばやし だいすけ・
静岡市立高等学校教諭)

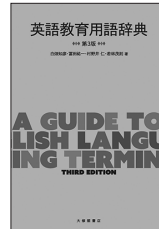
英語教育用語辞典 第3版

白畑知彦, 富田祐一, 村野井仁,
若林茂則 著

四六判・386頁・
本体2,500円＋税

[評者]

中川右也



進化し続ける英語教師の座右の書

昨今、教育界では学習指導要領改訂により著しい変化が起きている。時代の変化に合わせて約10年毎に改定される学習指導要領と同様に、発展する科学の知見を取り入れた英語教育の変革に合わせ、継続的に改訂を行っているのが本辞典である。収録用語数は初版800語、2版930語、今回の3版は1,030語と進化し続けている。

新しい用語を加えるだけでなく、取捨選択しながら解説を吟味し直し、コンパクトに収める工夫が施されており、初版から定価が変わらないのは驚きである。

新たに加えられた用語には、CLIL や EMI といった著者たちが専門とする英語教育、第二言語習得の分野に限らず、active learning, 21st Century Skills, SDGs など、教育学や関連分野の用語も網羅されており、英語教師にとっては All in One であることも特徴の1つと言える。

さらに、辞典では時代による言葉の移り変わりを改訂毎に反映させるが、本辞典も対応する用語が複数存在する場合には、時代に合わせ、より適切なものを優先して見出し項目としている点にも、著者たちが細心の気配りをしながら辞典を編んでいることが垣間見え

る。例えば2版では、実験研究の対象となる人を表す用語として subject (被験者) を見出しの項目にし、participant (参加者) という呼び名もあることが紹介されていたが、倫理的な観点から後者を使うことが多くなったことを踏まえ、改訂版では participant を見出し項目に変更している。

この書が専門用語辞典の役割も果たしていることは言うまでもない。用語は特定の学問分野で用いられる際、一般辞典に記載されている意味だけでは理解が得難い時もある。例として、教師の内省で重視される用語 journal は、一般辞典にある「雑誌」や「日記」ではなく、授業実践などを通して「気づいたことを書き記したもの」を表す。このような専門用語も一般に理解しやすいよう、平易な言葉で簡潔に記載されている。

外部試験や学習過程評価の導入に伴って、特に高校現場では CEFR や IRT, portfolio など、新たな用語を見聞きすることも多くなってきた。本辞典を使って調べると、参考文献も付されていることがあり、さらに深い知識を得たい場合、水先案内人の役割も果たす。近年になって急速に用いられるようになった上記の用語は、改訂前から掲載されていることから、時代を先読みするヒントも隠されている。

多忙な日々を送る教師であっても、本辞典を机の上に置き、空き時間に数個ずつ項目を読み進めて勉強するといった活用も可能である。英語教師にとってまさに座右の書である。

(なかがわ ゆうや・鈴鹿高等学校教諭、
名古屋市立大学非常勤講師)

大修館書店の本

◆〈介護される側〉から考えることばの環境 利用者の思いにこたえる 介護のことばづかい

遠藤織枝・三枝令子・神村初美=著
(四六判・144頁・本体1,400円+税)

◆多言語社会の実態に切り込む

多言語世界ヨーロッパ

——歴史・EU・多国籍企業・英語

クロード・トリュショ=著 西山教行・國枝孝弘・平松尚子=訳
(A5判・232頁・本体2,600円+税)

◆「日本語」も観光資源！

「やさしい日本語」で観光客を迎えよう

——インバウンドの新しい風

加藤好崇=編著

(四六判・176頁・本体1,500円+税)

◆授業が変われば子どもが変わる！

ワクワクする小学校英語授業の作り方

酒井志延=編著

(A5判・192頁・本体1,500円+税)

◆スマホでフラッシュカードにもアクセスできる

例文で学ぶ アラビア語単語集

鷺見朗子=編著 依田純和・福田義昭・竹田敏之・富永正人=著
(A5判・226頁・本体2,800円+税)

○

お知らせ

○

小社英語教科書についての質問、ご感想などを小社編集部宛にお寄せください。「G.C.D.教科書 Question Box」で随時ご紹介・ご回答してまいります。

また、小社教科書を使った授業の紹介などのご投稿（郵送のみ）をお待ちしております。（採否のご連絡は致しておりません。また、原稿はお返ししません。）

なお、小社ホームページには小社教科書の内容をご案内しているサイトがございます。ここでは、英語の先生方に役立つ様々な情報も提供しております。

<https://www.taishukan.co.jp/eigo/>

営業便り

▶新潟県にお邪魔するようになって今年11月で丸6年になります。初年度から右も左もわからない私に温かく接して下さい先生方にこの場をお借りして御礼を申し上げます。▶この夏は初めて日本一の長岡花火を家族で見に行きました。復興祈願花火フェニックスをはじめ大空いっぱい打ちあがる大輪の数々に時間も忘れるような貴重な体験をいたしました。平和への祈り、先人への感謝を忘れず、この想いを未来へ繋いでいくことの大切さを感じた夏となりました。さてこの度、「ジーニアス」の中級英和辞典として『アクシスジーニアス英和辞典』が誕生いたします。『ジーニアス総合英語』と連携し、よりコミュニケーション活動に重点を置いた新刊の英和辞典となっております。英語教育の新たなパートナーとして、学習者の一助となると信じております。是非お手にとってご覧になってください。また、これからの入試環境の変化や学習指導要領の改訂においても、弊社は先生方、学習者を全力でサポートしていく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。（東京支店 矢野隆之）



編集後記

▶今号で特集した『アクシスジーニアス英和辞典』は、英語学習の「軸（Axis）」として学習者の方に使ってもらえるようにとの願いを込めて名付けられた辞書です。地球の軸である地軸は、地球に色とりどりの季節をもたらしてくれますが、地軸がほとんど横倒しの天王星では、極に近い地域では軌道を一回りする内の半分の42年間がずっと昼、残りの42年間がずっと夜になるそうです。「軸」の影響力を思わずにられません。▶私が学生であった当時と今とでは、辞書を取り巻く環境は大きく変わっています。紙の辞書を日常的に用いる人は減り、スマートフォンのアプリや検索機能が学習者の軸となりつつあります。これまでとは全く違う軸で学習する世代に向けて、改めて学習の軸として提示されようとしているこの紙の辞書が、地軸の回転が見せる季節のような美しさや楽しさを、再び学習者に感じさせてくれることを願っています。（春）

Genius・Compass・Departure 英語通信

第64号

2019年10月15日発行
(年2回発行)

編集人：「G.C.D. 英語通信」編集部

発行人：鈴木一行

発行所：株式会社 大修館書店

〒113-8541 東京都文京区湯島2-1-1

電話 (03) 3868-2293 (編集部) / (03) 3868-2651 (販売部)

【出版情報URL】 <https://www.taishukan.co.jp> 【振替】 00190-7-40504

印刷・製本：文唱堂印刷株式会社

〔本誌のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。本誌を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても著作権法上認められておりません。〕